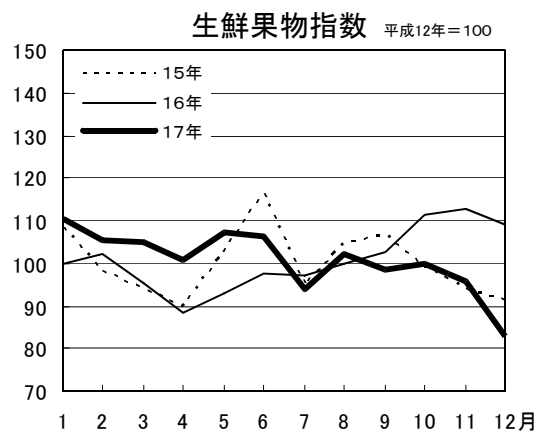
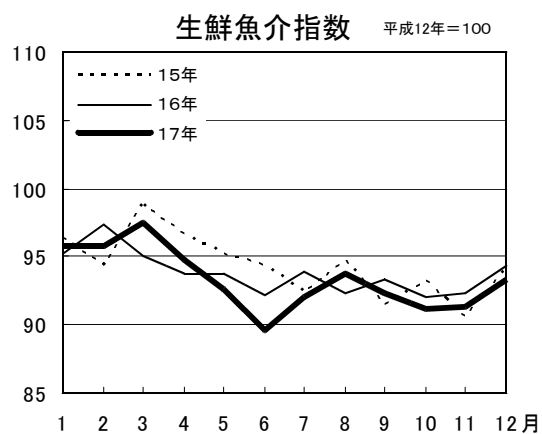
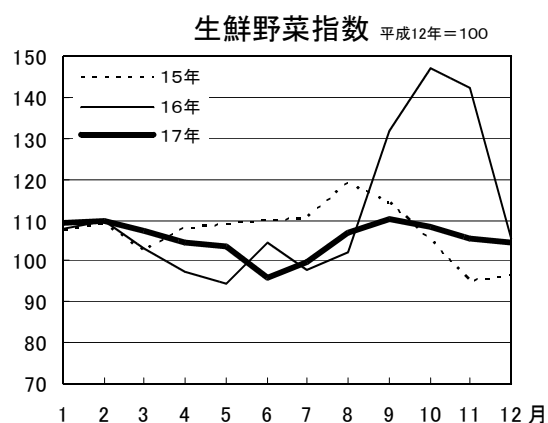
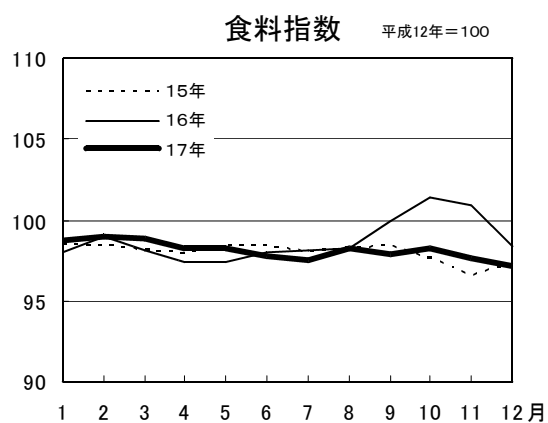


費目別指数の動き

(1)食料

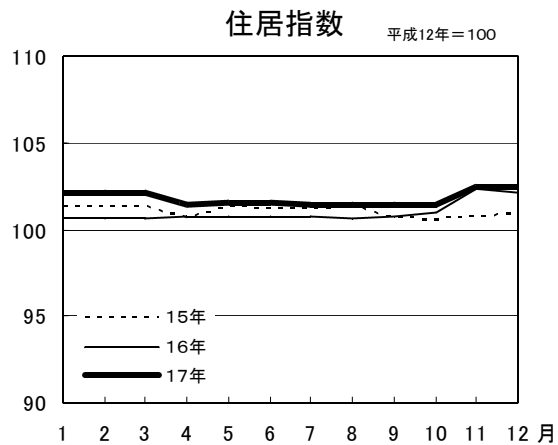
年平均指数は98.1となり、前年に比べ0.7%の下落となった。生鮮食品についてみると、生鮮魚介が0.5%下落、生鮮野菜が5.8%下落、生鮮果物が0.1%下落したため、生鮮食品全体では2.5%の下落となった。

生鮮食品以外では、肉類は0.9%の上昇、乳卵類は4.0%の上昇、油脂・調味料は0.3%の上昇、菓子類は0.5%の上昇、調理食品は1.3%の上昇となった。一方、穀類は5.2%の下落、飲料は1.2%の下落、酒類は1.0%の下落、外食は0.1%の下落となった。



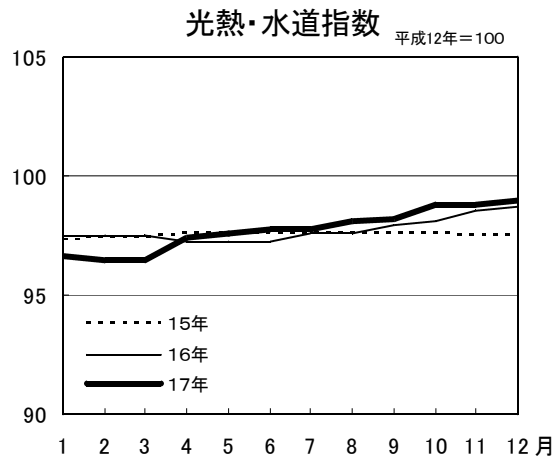
(2)住居

年平均指数は101.8となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。内訳をみると、家賃は0.8%の上昇、設備修繕・維持は0.5%の上昇といずれも上昇となった。



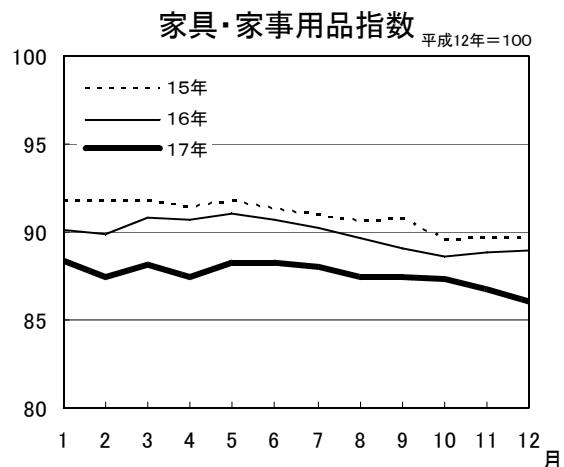
(3)光熱・水道

年平均指数は97.8となり、前年に比べ0.1%の上昇となった。内訳をみると、他の光熱は24.1%の上昇、上下水道料は2.1%の上昇となった。一方、電気・ガス代は2.1%の下落となった。



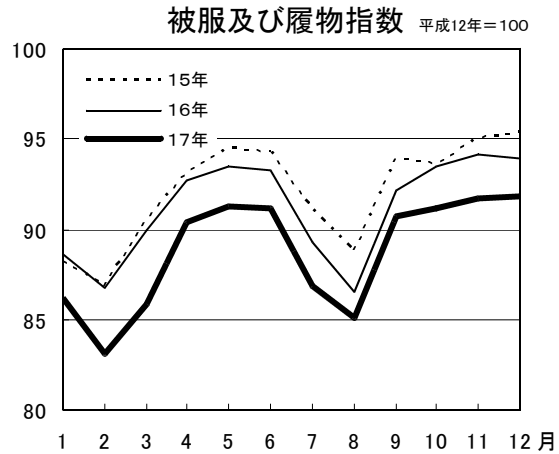
(4)家具・家事用品

年平均指数は87.6となり、前年に比べ2.6%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は5.7%の下落、寝具類は3.7%の下落、家事雑費は1.9%の下落、家事用消耗品は4.1%の下落となった。一方、室内装飾品は1.9%の上昇、家事サービスは0.1%の上昇となった。



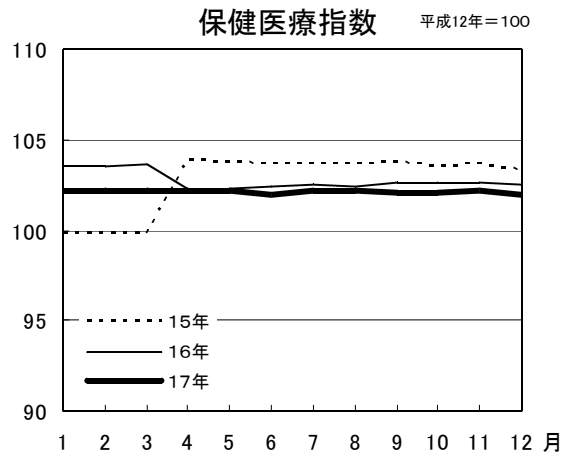
(5) 被服及び履物

年平均指数は88.8となり、前年に比べ2.6%の下落となった。内訳をみると、衣料は1.5%の下落、シャツ・セーター・下着類は6.1%の下落、履物類は0.2%の下落、生地・他の被服類は2.2%の下落といずれも下落となった。



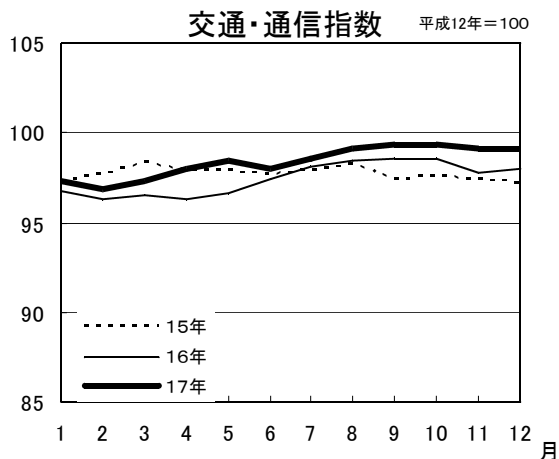
(6) 保健医療

年平均指数は102.2となり、前年に比べ0.5%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は0.5%の下落、保健医療用品・器具は1.4%の下落、保健医療サービスは0.4%といずれも下落となった。



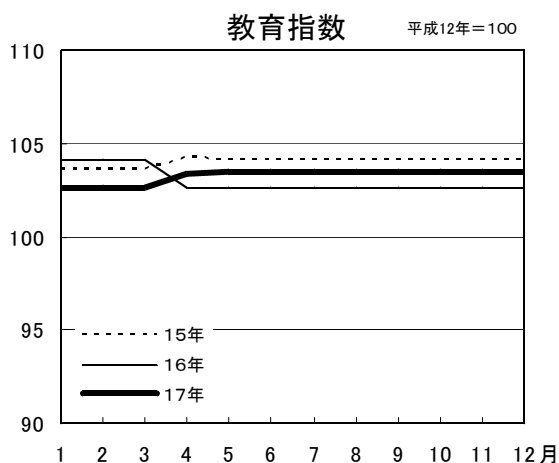
(7) 交通・通信

年平均指数は98.4となり、前年に比べ0.9%の上昇となった。内訳をみると、自動車等関係費は4.8%の上昇となった。一方、通信は6.4%の下落となった。なお、交通は前年と同水準となった。



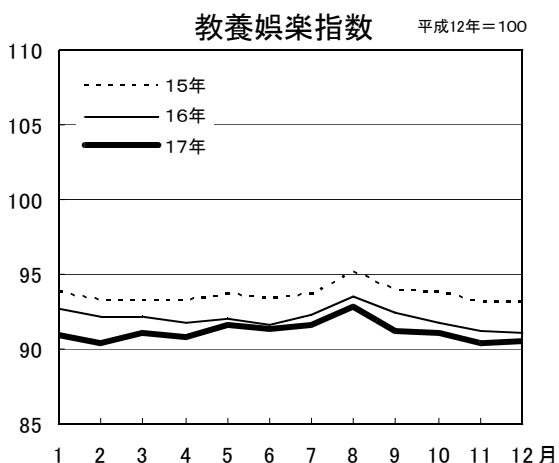
(8) 教育

年平均指数は103.3となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。内訳をみると、授業料等は1.0%の上昇となった。一方、教科書・学習参考教材は0.1%の下落、補習教育は3.2%の下落となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は91.2となり、前年に比べ0.9%の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は13.9%の下落、教養娯楽用品は0.6%の下落、教養娯楽サービスは0.2%の下落となった。一方、書籍・他の印刷物は0.5%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は101.2となり、前年に比べ0.1%の上昇となった。内訳をみると、身の回り用品は0.8%の上昇、その他は1.3%の上昇となった。一方、理美容サービスは0.6%の下落、理美容用品は0.6%の下落となった。なお、たばこは前年と同水準となった。

